



第14号
令和2年
3月2日発行

みどりの風

こころざし高く
思いやりのある
深小っ子の育成



臨時休業～新型コロナウイルスの影響～

校長 新井 英男

あと20日、あと19日、…と残り少なくなった今のクラスでの生活を十分楽しみ、友達とより一層充実した思い出に残る時間を過ごそうとしていた時に、突然、臨時休校の知らせ。子供たちも私たち教職員も驚きました。これから卒業式までに、これから修了式までにと考えていたこと、計画していたことがすべて吹き飛んでしまいました。すべては、子供たちの命のため、健康と安全を第一に考えたということですが、子供たちとのまとめの時間、思い出づくりの時間がなくなってしまったことが残念でなりません。特に6年生にとっては、小学校での最後の1ヶ月の貴重な時間を失い、このまま中学校に飛び立つことになります。(今のところ、24日の卒業式は縮小して行う予定です。)

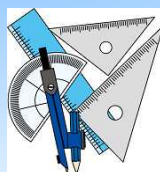
子供たちと関わる身として、どの職員も子供たちの心情を考えるといたたまれない気持ちです。どうにもならないと分かっている、でも、「これで卒業になってしまうのか」と残念で仕方ありません。

卒業式への参加者の縮小、時間も短縮という指示もきています。そんな中、6年生の子が校長室にやって来て、「呼びかけをやらせていただけませんか。」と訴えてきました。6年間の集大成の卒業式で6年生全員が1つになり、これまでの自分たちを振り返る大切な呼びかけなのですが、今のところ、中止せざるを得ません。子供たちにやらせたい、やってほしい気持ちは大きなものがありますが、学校が決めることはできません。つらいです。本当につらいです。

子供たちも、私たち教職員も、そして、保護者の皆様にとってもつらいと思います。

小学校を卒業し、中学校を卒業し、・・・、いつか、「令和元年度の自分たちは、1ヶ月早く授業が終わってしまったよなあ。」「新型コロナウイルスが大変だったよね。」と笑って思い出し、「でも、楽しいことがたくさんあったよね。」とみんなで集まって言える日が来るはず。今はそんな日を待ちたいと思います。

1～5年生にとっても、学年のまとめをすることなく、今の学年が終わってしまいます。当然、授業は最後まで終わっておらず、ドリル、テスト等も残っています。これらについては、来年度に持ち越ししかありません。今年度の教科書、ワーク、ドリル等は、4月以降使うことになると思いますので、なくさないようにしておいてください。



「悪いことが起こったことがよいことにつながることを表す言葉」

「災いを転じて福となす」「雨降って地固まる」「苦あれば楽あり」「塞翁が馬」

子供たちにとって、今回のことが後でよいことにつながってほしいと願います。

休み中、ホームページで各学年、学校から情報をどんどん発信!



長期臨時休業に入るのに伴い、これまで以上に本校ホームページを活用していきたいと考えています。これまで通り、毎日ホームページを更新していきませんが、できる限り、それぞれの学年から子供たちへの情報も発信していきたいと思ひます。

毎日、一度は、ホームページを開いていただき、学校から子供たちへのメッセージをお子さんと一緒に見ていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



毎日、勉強、運動を継続的に頑張ってもらいたいと思います。学校に来ているときと同じように起床し、規則正しい生活が送れるようにすることが大切です。ご協力をよろしくお願いいたします。

校長からの宿題

もし、学年からの宿題が終わって余裕があったら、次のことをしてください。

- 1 家の仕事、手伝いをする。(玄関はき、風呂そうじ等の決まったことを毎日する)
- 2 これまでの暗唱チャレンジがスラスラ言えるようにする。
- 3 新たな暗唱チャレンジ『寿限無』の暗唱。
- 4 毎日、日記を書く。(量は、どれだけでもよいが、とにかく続ける)
- 5 計算ドリルを繰り返し、かかる時間をどんどん短くし、自己記録を更新する
- 6 新聞を読んだり、ニュースを見たりして、思ったことをまとめる。(日記にしてもよい)
- 7 本校ホームページの『学力向上コーナー』(トップページ右側)の問題に挑戦する
 - ◆「☆ふっかちゃん家庭学習応援サイト(1年・2年・3年・4年・5年・6年)」
 - ◆「2 全国学力・学習状況調査問題(5年・6年)」←これまでの問題がすべて見られます
 - ◆「3 埼玉県学力・学習状況調査 復習シート(4年・5年・6年)」
 - ◆「8 学力向上プリント(東部教育事務所作成)(1年・2年・3年・4年・5年・6年)」
- ※国語、算数 両方あります
- 8 読書→読み終わったら、友達に勧める文章を書いてみる
- 9 国語の教科書を読む。その後、【1・2年生→暗唱する】
【3～6年生→大切なことをまとめる】
- 10 体力づくりのために行ったこと、その日の記録を毎日書いていく。

☆子供たちなりに努力できるように励まし、よくなったところを称賛してください。
☆わからない点、心配な点等がありましたら、学校に連絡してください。

暗唱チャレンジの賞状は、2月まで合格した子に渡します。

本校のホームページから

【2月19日】『出前授業』～体育の先生にお世話になりました～

2校時に6年生全員が深谷中学校体育科の先生から、様々なことを教えていただきました。おもに、表現運動、集団運動でお世話になりました。

中学校の先生の授業を受けて、子供たちは、残り少なくなった小学校生活を考えるとともに、目前に迫ってきた中学校に期待を持てたことでしょう。

ご多用の中、本校に来てくださいました先生、大変お世話になりました。ありがとうございました。



【2月22日】『今年度最終 授業参観・学級懇談会』～大変お世話になりました～

本日は、ご多用のところ、授業参観、学級懇談会に参加していただき、ありがとうございました。新型コロナウイルス対応のため、マスクをつけていただき、また、手のアルコール消毒にご協力いただき、感謝申し上げます。

お子様の様子は、いかがだったでしょうか？ 生き生きと活動していたでしょうか？ お子様と共通の話題でお話ができると思います。よかったところを思いっきり称賛してあげてください。



【2月25日】『すばらしかった音読朝会』

今朝は、音読朝会を行いました。

初めに、1年生から6年生までが国語の教科書に載っている短い詩を暗唱しました。

それぞれの学年のつながり、子供たちの成長が分かりました。

続いて、本日の発表学年である1年生が2つの長い詩を披露してくれました。

「いろんなおとのあめ」と「あいうえお・ん」でした。非常に長い詩ですが、みんなしっかり覚え、自信をもって大きな声で発表していました。4月に入学し、まだ、1年たっていませんが見事な発表でした。こんなに成長したんだと、うれしくなりました。



その後、2年生が感想発表を言ってくれました。

こちら、1つだけ上の学年なのですが、自分で思ったことが堂々と言えました。すばらしかったです。今日は、朝から気持ちよくなりました。

【2月27日】『図書ボランティアの皆さん』～ありがとうございました～

昨年度スタートした『図書ボランティア』の仕事。

学校では図書館司書が一人しかおらず、週3日の勤務なので、子供たちへの本の貸し出し、図書室の環境整備、新しい本の登録等の仕事に追われてしまっています。

そんな中、傷んだ本の修繕の仕事をしてくださる図書ボランティアさんの協力は大変うれしいものです。子供たちが本好きになり、図書室にたくさん来てくれるように、きれいな本を揃えることは大切です。今日もたくさんの方が学校においでくださり、様々な仕事をしてくださいました。感謝申し上げます。



【2月27日】『6年生との会食』

6年生みんなに聞いている「夢」について、今日の子供たちにも聞きました。子供たちは、みんな、すぐにこんな夢をもっているということを話してくれました。

それぞれ理由があり、自分の好きなことを続けるため、自分の得意なことを生かすため、家の人に楽をさせたいから等教えてくれました。小学校6年生なりに、よく考えているなと思いました。

最後に、「ちょっといいですか」ということで、男の子が肩もみ、マッサージをしてくれました。「お世話になったから」と言って、「もういいよ。気持ちいいなあ。ありがとう。」と私が言っても、「まだ、大丈夫です。」とマッサージを続けてくれました。こんなことは初めてでした。感激でした。うれしかったです。



【2月29日】『奉仕作業を頑張ってくれました』～ありがとう 6年生～

突然の臨時休業の知らせを受けましたが、6年生は、昨日予定通り奉仕作業をしてくれました。自分たちがお世話になった学校を卒業前に少しでもきれいにしようと、いろいろな場所に分かれて頑張ってくれました。

3月3日から臨時休業に入ってしまう忙しい中でしたが、心を込めてきれいにしてくれている姿に胸を打たれました。6年生、ありがとうございました。

みんなにとって、小学校最後の学校での時間が少なくなってしまう、本当に申し訳ないという気持ちです。しかし、国の非常事態なので、何とか自分たちでできることをしっかりやっていきましょう。皆さんの健康と安全を第一に考えた措置です。

そんな中、必死にきれいにしている皆さんを見ていると涙が出そうでした。



【2月29日】『今年度最後のがんばルーム』～1週間早く終わります～

新型コロナウイルスの関係で、がんばルームも1週間早く終了することになりました。元気な子供たちが集まり、子供たちのことを真剣に考えてくださる地域の先生が来てくださっていました。

2つの教室に分かれて、子供たちは一生懸命、ドリル学習等に取り組んでいました。先生方もいつもと同じく、一人一人の様子に合わせて、優しく丁寧に指導してくださっていました。

子供たちは、1年間、よく頑張りました。土曜日ですが、がんばルームに通い、ドリルを終わらせようと努力してきました。私も、そんな子供たちの頑張りを称賛するように、できるだけがんばルームの様子を見るようにしてきました。

がんばルームの教室には、いつも、子供たち一人一人に寄り添い、その子に合った言葉がけを行い、何とか勉強が分かるように、勉強をする意欲が増すようになどと考えながら子供たちの成長を願ってくださるがんばルームの「地域の先生」の姿がありました。また、休み時間には、子供たちと一緒に思いっきり遊んでくださる「地域の先生」の姿がありました。

がんばルームの「地域の先生方」、これまで、本当にお世話になりました。ありがとうございました。感謝申し上げます。来年度も、どうぞ深小っ子のためによりしくお願いいたします。

